

MAKING THE CASE FOR
CLOUD ROBOTICS



クラウドロボティクスで
業務を前進させる方法トップ6



クラウドロボティクス で業務を前進させる 方法トップ6

ロボットは人間や固定された自動化システムが行うことと同じ働きが可能だ。ある場所から別の場所へ商品を移動させることができ、従業員の足での移動量を大幅に減らすことができる。ロボットは、正しい商品を持ってきたり、商品が棚から手動でピッキングされる時に近くにいることで、注文のピッキングで人間を助けることができる。また、従来の自動化システムとは異なり、設置、インストール、テスト、展開に1年以上かかることはない。

スピードと柔軟性は、クラウド・ロボティクスが今日の課題に適している最大の理由だ。オンデマンド自動化の観点から考えると人間の従業員のオーダーピッキングを支援するためだけでなく、倉庫や製造工場の多くの潜在的なワークフローに自動化を自由に展開できる能力を兼ね備えている。

最終的にクラウド・ロボティクスは、以下のようないくつかの重要な面で企業を支援:

展開の早さと再構築性: 資材輸送のためのクラウド・ロボティクス・ソリューションは、8時間以内に設定、マッピング、展開が可能。倉庫管理システム、倉庫制御、または作業場制御システムとの統合を伴うソリューションは、もう少し時間がかかるが、従来の自動化では数ヶ月かかるのに対し、数日から数週間で稼働させることができる。クラウドベースの視覚的な設定ツールを使用して、ワークフローとロボットのアサインを迅速に変更することができる。

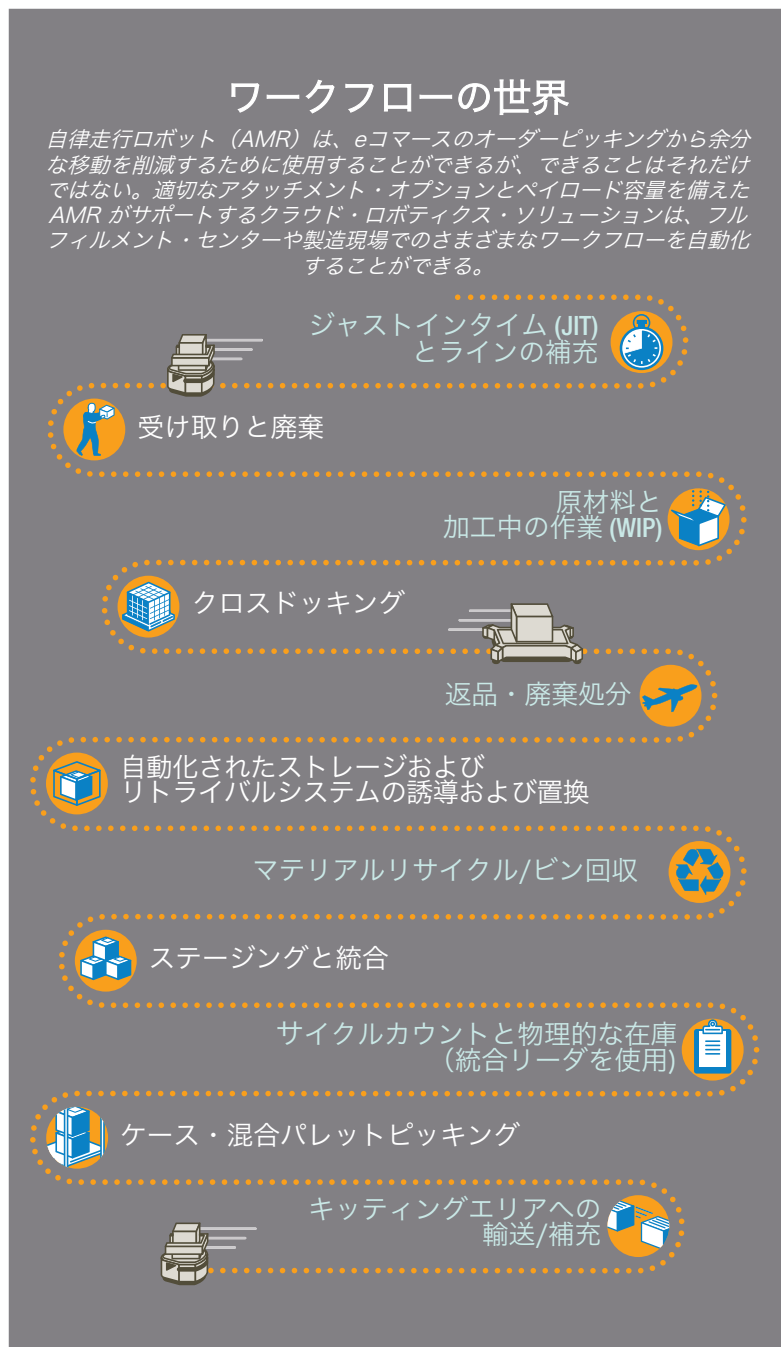
複数のタイプのロボットワークフローを作成し、サポートする能力: ロボットは、パレタイジングや重い部品の組み立てのようなニッチで固定された作業を行う産業界では長い間存在してきた。これらのソリューションは機能するが、1つの事しか出来ない。柔軟なクラウドロボティクスの鍵は、1つのプラットフォームを使用して、オーダーピッキングから、自動システムの補充、長距離の材料輸送、または適切なアタッチメントを使用した自動サイクルカウントのような機能まで、多くのタスクを作成して管理でき、労働効率の大幅な向上ができることだ。

隠された費用: サブスクリプションモデルでは、クラウドロボティクスは、すべてのロボットとアタッチメント、メンテナンス、サポートを予測可能な月額料金で提供することができる。このソリューションは完全にクラウドベースであるため、現場にサーバーやデータベースをインストールする必要がなく、ロボットハードウェアをサービスとして提供することも可能だ。

経営者のためのビジネス・インサイト: クラウドベースのソフトウェアは、ソリューションの構成や設定だけでなく、管理者のためのビジネスインサイトを生成するために使用されている。このソフトウェアは、ダッシュボード形式で様々な設定可能なメトリクスをユーザーに提供。特定の倉庫管理システムソリューションと併用することで、クラウドソフトウェアはピッキングパスの最適化機能をユーザーに提供することができる。また、クラウドのアプローチは、運用メトリクスのような最新のベンダー機能を管理者が常にアクセスできるようになっている。

施設の安全性とフローの向上: フルパレットや重量物からビンの中の小物まで運搬可能なロボットは、施設内の潜在的な危険性を低減させる効果を持つ。ロボットによって施設内の足元の交通量が減り、搬送に必要なドライバーやリフトトラックの数が減ることで、衝突の可能性が減少する。

より多くのことをより少ない量で行う: クラウドロボティクスとは、何十人もの労働者を採用したり、固定の自動化システムを導入するために12ヶ月以上待たなくても、必要な時に必要な場所で、好きな時に好きなようにタスクを自動化できるようにすることだ。その結果、オペレーションは、高騰する人件費や残業時間に対処することなく、繁忙期にも注文を確実にこなし、生産の期待に応えることを可能にする。



オンデマンド自動化の素晴らしい点は、必要な時に必要な時に必要なだけ自動化を展開し、必要な時に必要なだけ変更できることである。これは、注文量の急増、深刻な労働力不足、フルフィルメントネットワークの急速な進化など、今日の重要な課題に適合していると言えるだろう。